



きずな。



新任部長のご挨拶

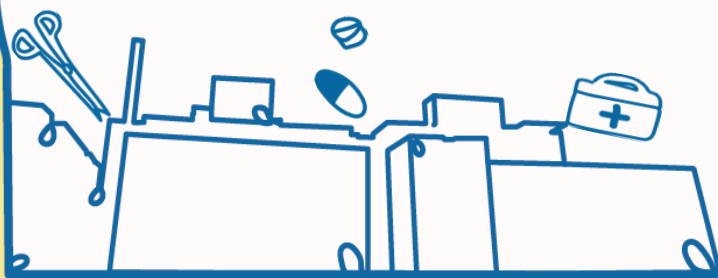
産婦人科 部長（教授） 太田 啓明 （おおた よしあき）



認定医・専門医・指導医

日本産科婦人科学会専門医・指導医
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医（腹腔鏡・ロボット）
ロボット外科学会専門医（国際B級）
日本内視鏡外科学会技術認定医（産科婦人科）
日本婦人科ロボット手術学会認定プロクター
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本女性骨盤底医学会専門医

2025年6月1日付で、川崎医科大学産婦人科学教室教授および附属病院産婦人科部長を拝命いたしました。1999年に日本大学を卒業後、20年以上にわたり腹腔鏡・ロボット手術を専門に、倉敷地域および近隣の女性医療の発展に努めてまいりました。2020年の川崎医大着任以降、600例を超えるロボット手術を執刀し、良性子宮疾患、早期子宮体癌、骨盤臓器脱に対するロボット手術を、経験豊富なスタッフとともに安全に提供しております。特に中四国では初となるセンチネルリンパ節マッピングを早期子宮体癌に導入し、根治性とQOLの両立を目指した低侵襲治療を推進しています。今後も手術のみならず、化学療法・免疫療法・放射線治療など多職種と連携した集学的治療を通じて、地域の女性の健康と福祉に貢献してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



川崎医科大学附属病院 地域医療連携室
〒701-0192 倉敷市松島577

TEL : 086-464-1567

FAX : 086-464-1166

MAIL : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp

新任部長のご挨拶

リハビリテーション科 部長（教授）
平岡 崇 （ひらおか たかし）

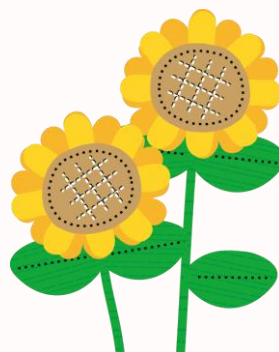
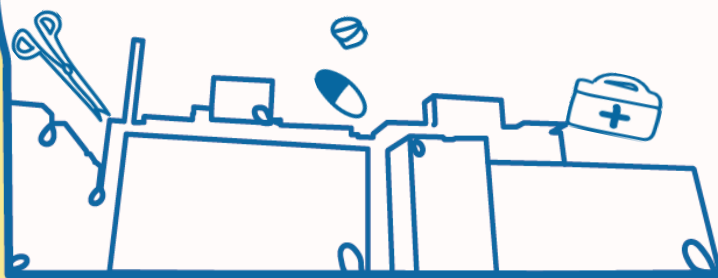


認定医・専門医・指導医

日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医・認定臨床医・指導医
日本臨床神経生理学会専門医
日本臨床倫理学会臨床倫理認定士
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
日本医師会認定産業医



この度2025年7月1日付で川崎医科大学リハビリテーション医学教室主任教授ならびに同附属病院リハビリテーション科部長/リハビリテーションセンター長を拝命いたしました平岡崇と申します。1996年の川崎医科大学卒業後、明石謙教授率いる当教室に入局し、以後 椿原彰夫教授、花山耕三教授に師事し母校で研鑽を積んで参りました。大学院では脊髄前核細胞の興奮抑制時間に関する基礎的研究を、2010年から2年間は米国Johns Hopkins Universityにおいて嚥下障害に関する研究を行って参りました。現在は高次脳機能障害を主たる専門領域とし、当院では高次脳機能障害専門外来も担当しております。今後も地域の先生方との繋がりを大事に、地域のリハビリテーション医療に尽力して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。





診療のご案内

消化器内科 副部長（准教授）
松本 啓志（まつもと ひろし）



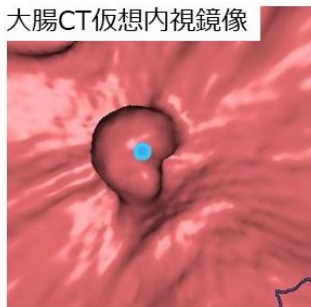
認定医・専門医・指導医

日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化管学会胃腸科専門医・指導医
日本ヘリコバクター学会H.pylori（ピロリ菌）感染症認定医
日本カプセル内視鏡学会指導医
日本消化器がん検診学会総合認定
日本メディカルAI学会専門コース修了

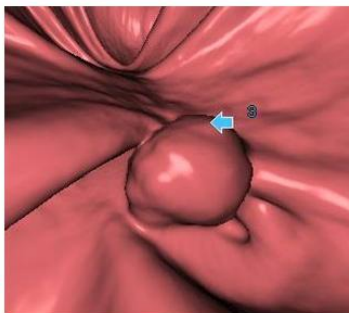
川崎医科大学附属病院消化器内科では、最新の診断・治療法を積極的に導入し、患者さんに優しい医療の提供を目指しています。現在、無下剤で受けられる大腸CT検査の治験を実施しており、下剤内服が困難な方にも負担の少ない新たな選択肢として注目されています。対象は便潜血陽性者や大腸ポリープの経過観察中の方で、経済的負担の軽減も可能です。さらに、炎症性腸疾患（IBD）や消化管アレルギーといった専門性の高い疾患にも注力しており、専門外来を通じた包括的な診療体制を整えています。今後も地域医療機関との連携を強化し、最適な消化器診療の提供に努めてまいります。ご紹介の際はぜひご相談ください。

腺腫性ポリープ

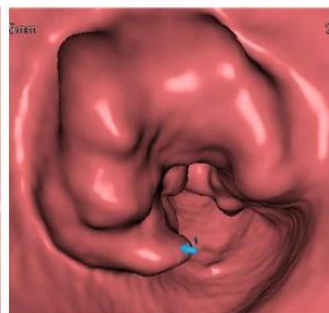
大腸CT仮想内視鏡像



早期大腸癌



進行大腸癌



通常内視鏡像

